

広陵町地域公共交通利便増進計画 (案)

令和5年5月
広陵町

目次

1. はじめに.....	1
1.1 計画策定の背景と目的.....	1
1.2 計画の位置づけ.....	1
1.3 目標年次（計画期間）.....	1
1.4 計画の区域.....	2
2. 地域公共交通の方向性.....	3
2.1 地域公共交通の抱える課題.....	3
2.2 地域公共交通計画で定める基本方針と基本戦略.....	4
3. 利便増進実施事業の概要.....	7
3.1 対象事業.....	7
3.2 本町地域公共交通ネットワークの再編概要.....	9
3.3 個別事業の内容.....	13
3.3.1 一般乗合旅客自動車運送事業（北部・南部支線）の自家用有償運送への転換.....	12
3.3.2 広陵元気号中央幹線の再編.....	19
3.3.3 運行再編に合わせた乗継検索、キャッシュレス決済の導入を含む広陵町版地域公共交通 MaaS の構築.....	26
4. 地方公共団体における支援の内容.....	29
5. 必要な資金の額・調達方法.....	30
6. 事業の効果.....	31

1. はじめに

1.1 計画策定の背景と目的

広陵町（以下「本町」という。）では、平成28年5月に「広陵町地域公共交通網形成計画」（以下「網形成計画」という。）を策定し、町民の利便性等とともに、まちづくりや観光といった視点も取り入れながら、新公共交通システムの構築と地域公共交通施策の推進に取り組んできました。

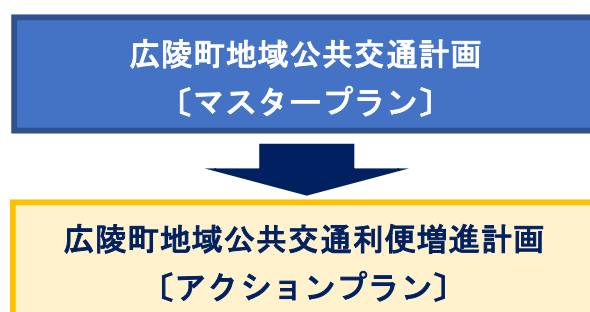
その後、令和3年度をもって計画期間終了を迎える網形成計画に関する評価・検証を行うとともに、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）（以下「法」という。）の改正に対応する形で、令和4年度からを計画期間とする「広陵町地域公共交通計画（以下「交通計画」という。）」を策定しました。交通計画策定に当たり、広陵町地域公共交通活性化協議会を開催し、関係者等との協議において、本町の公共交通の実態と抱える課題について認識を共有し、必要な交通体系等を検討しています。交通計画は、将来像の実現や課題に対応した地域公共交通ネットワークを構築するものであり、公共交通施策のマスタープランとなるものです。

この交通計画における事業の基本方針に基づき、確実な事業の実施、公共交通体系の維持・向上及び運行を行っていくため、「広陵町地域公共交通利便増進計画」を策定します。

1.2 計画の位置づけ

本計画は、地域公共交通のマスタープランである交通計画に定めるめざすべき将来像を踏まえ、それを実現するための施策と具体的な取組みを推進するための地域公共交通に関するアクションプランとして、その具体内容をまとめたものです。

また、県全体で効果的、効率的な地域公共交通ネットワークを構築する観点から「奈良県公共交通基本計画」などとも整合を図るものとします。



図：計画の位置づけ

1.3 目標年次（計画期間）

本計画は、交通計画の期間を踏まえて、令和5年10月から令和9年3月までとします。ただし、社会情勢の変化等を踏まえながら、必要に応じて適宜見直しを行うこととします。

1.4 計画の区域

本計画は、交通計画に基づき、町全域の地域公共交通の利便増進を図ることを想定しており、町全域を対象区域に設定します。

また、町が運営する公共交通については、近隣自治体等（大和高田市及び田原本町）へも発着を予定しているため、近隣自治体の同意を得た上で密接な連携を図り、町外アクセスについても施策を展開します。

2. 地域公共交通の方向性

2.1 地域公共交通の抱える課題

統計データ等を用いた現況の整理・分析、住民アンケート調査及び既往計画の評価から、交通計画では「人口・世帯」「土地利用・市街化」「公共交通利用」「情報施策」「その他の町を取り巻く状況」の観点で、交通計画に基づき改めて整理した本町における公共交通の課題は以下のとおりです。

表：課題の整理

人口・世帯	<ul style="list-style-type: none"> ・老年人口割合及び単身高齢者世帯数の増加、転入超過や本町特有のベッドタウン機能の維持などに対応するため、公共交通の拡充及び連携が重要となります。特に、高齢者、要支援者及び運転免許返納者等に対する公共交通施策が課題となります。 ・公共交通による移動の推進やユニバーサルデザインに配慮した公共交通サービスにより、過度に自家用車に頼らない環境を整えるための計画策定が課題となります。
土地利用・市街化	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車依存率が高く、自家用車保有台数も増加傾向にあり、モータリゼーション社会から既存の公共交通サービスを充実させることが必要となります。
公共交通利用	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道・路線バス・タクシー・広陵元気号の連携に加え、周辺市町のコミュニティバス等及び商業施設等との連携強化が重要となります。 ・広陵元気号については、交通空白地を補完しているため、ダイヤ・路線の見直し等、利用者の増加につながる施策展開が重要であるとともに、路線バスについても、運行事業者との連携のもと、利用者の増加につながる施策展開が重要となります。 ・鉄道駅への移動手段として、自動車や自動二輪の利用が多くみられる地域に対して公共交通の利用促進が課題となります。 ・住民がよく利用する近鉄五位堂駅及び大和高田駅へのアクセス強化及び近鉄箸尾駅へのアクセス確保が求められます。 ・鉄道を除く公共交通はほとんど利用されていない状況ですが、鉄道駅への移動需要はあるため、駅までの移動手段を充実させる必要があります。 ・公共交通を利用しない理由として、「利用する必要がない」「自家用車が使える」といった意見が多いことから、過度に自家用車に頼らない移動環境を整え、公共交通の利用を促す方法を検討する必要があります。 ・各公共交通サービスについて、ハード面での施策展開に加え、車内の快適性や運行情報の分かりやすさの向上など、ソフト面での施策展開も重要です。 ・タクシーの利用しやすさの向上のために、スマートフォンを活用したアプリ配車の導入が求められます。 ・デマンド交通や自家用有償運行は、高齢者の利用意向が高く、スマートフォンの保有割合も高いことから、スマートフォンを活用したサービス提供が求められます。一方で、スマートフォンを持っていない人にも対応した運行方法の検討が必要です。
情報施策	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙等のアナログ媒体及びSNS・ホームページ等のデジタル媒体など、多様な媒体を活用し、発信することが求められます。 ・スマートフォン保有割合は高く、身近な情報入手ツールとしてスマートフォンを活用した施策展開が求められます。 ・デジタルネイティブ世代については、時間制約等により、よりECサイト利用が見込まれることも考慮した施策展開が重要となります。

その他の町を取り巻く現状	<ul style="list-style-type: none"> ・ECサイトの利用増などで住民の行動は変容してきており、<u>住民の行動目的に応じた公共交通サービスの提供、多様な輸送資源の活用のための取組みが課題</u>となります。 ・防災面では、避難時の安全な移動手段の確保が課題であり、豪雨による浸水や地震による家屋倒壊等、様々な自然災害に備えるための避難所や緊急輸送路等の指定の見直しが必要となります。
--------------	---

2.2 地域公共交通計画で定める基本方針と基本戦略

本町の地域公共交通の抱える課題、社会環境、上位関連計画における将来像等を踏まえ、交通計画では「持続可能」な公共交通を実現する基本方針と基本戦略を設定しています。

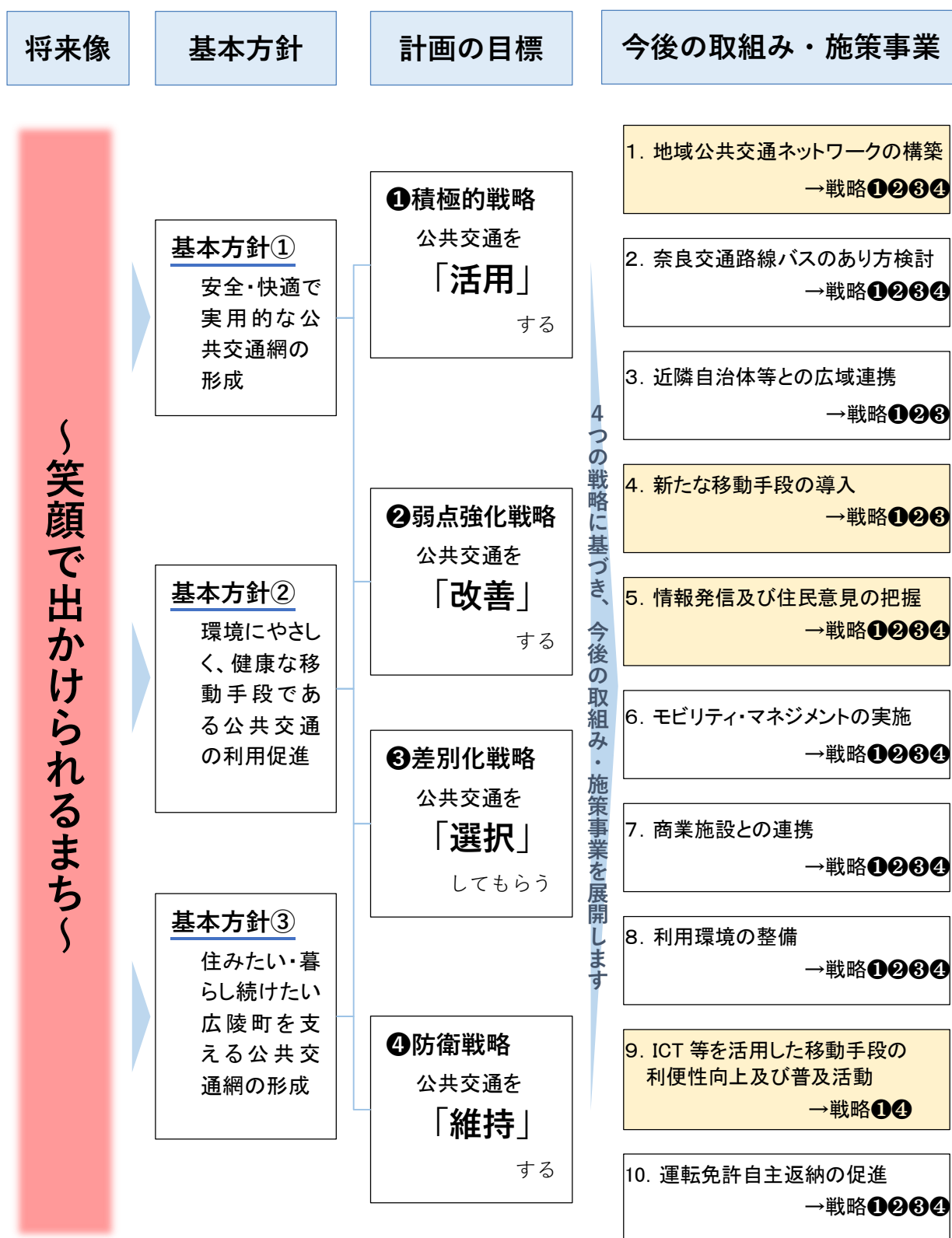
表：基本方針

基本方針1： 安全・快適で実用的な公共交通網の形成	安全かつ安心して暮らすことができるまちをつくることを目的に、鉄道や路線バス、広陵元気号などは町民生活を支える重要な公共交通として、安全性・利便性・快適性等の機能向上をめざす。
基本方針2： 環境にやさしく、健康な移動手段である公共交通の利用促進	既存の公共交通サービスを充実させることで脱炭素社会につながるように公共交通利用への転換を促し、またスマートウェルネスシティの実現へ個人の生活スタイルの変容に加えて、公共交通に対する意識を醸成し、地域が守り、育てる公共交通をめざす。
基本方針3： 住みたい・暮らし続けたい広陵町を支える公共交通網の形成	本町のベッドタウン機能を維持するため、公共交通の良好なアクセス環境を維持するとともに、将来にわたって安心して暮らし続けられるよう、本町の魅力を高める公共交通サービスの充実及び持続的な運行をめざす。

表：基本戦略

積極的戦略	公共交通を「活用」する。 現在の町が有する公共交通を活かしつつ、町を取り巻く良好な条件や新たな技術・制度等を積極的に使うことで、公共交通をより「活用」できる手段とします。
弱点強化戦略	公共交通を「改善」する。 現在の町における公共交通の弱点を、町を取り巻く良好な条件や新たな技術・制度等を活用し、公共交通の利便性を「改善」します。
差別化戦略	公共交通を「選択」してもらう。 町を取り巻く脅威に対し、現在の町が有する公共交通の強みを活かすことで対抗するため、他のサービス等と差別化を図り、公共交通が移動手段として「選択」されるようにします。
防衛戦略	公共交通を「維持」する。 現在の町が有する公共交通の弱みが町を取り巻く脅威にさらされることで公共交通の存続が脅かされないように、公共交通を「維持」します。

交通計画の目標を実現するために、基本方針に基づく各戦略に基づき、以下に示す今後の取組み・施策事業を展開します。



※「今後の取組み・施策事業」の網掛け箇所 1. 4. 5. 9 が本計画で重点的に取り組む内容

表：実施事業一覧

将来像	基本方針	計画の目標				事業番号	事業名	実施主体	事業区分	利便増進事業対応(※)	カテゴリー	実施時期						
		①積極的戦略 【活用】	②弱点強化戦略 【改善】	③差別化戦略 【選択】	④防衛戦略 【維持】							短期					中期	長期
												R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9- R13 (2027- 2031)	R14- (2032-)
笑顔で出かけられるまち	基本方針① 安全・快適で実用的な公共交通網の形成 基本方針② 環境にやさしく、健康な移動手段である公共交通の利用促進 基本方針③ 住みたい・暮らし続けたい広陵町を支える公共交通網の形成	●	●	●	●	1	地域公共交通ネットワークの構築	広陵町・交通事業者・社会福祉協議会	ハード	○	利用増進 交通弱者対策	検討	実施	→	→	→	→	→
		●	●	●	●	2	奈良交道路線バスのあり方検討	広陵町・交通事業者・住民等	ハード		利用増進 交通弱者対策	検討	→	→	実施	→	→	→
		●	●	●		3	近隣自治体等との広域連携	広陵町・交通事業者	ハード ソフト		利用増進 交通弱者対策	検討	→	→	実施	→	→	→
		●	●	●		4	新たな移動手段の導入	広陵町・社会福祉協議会・交通事業者	ハード ソフト	○	利用増進 交通弱者対策	検討	→	実施	→	→	→	→
		●	●	●	●	5	情報発信及び住民意見の把握	広陵町・交通事業者・民間事業者・地域住民	ソフト	○	利用増進 啓発・PR	継続実施	→	→	→	→	→	→
		●	●	●	●	6	モビリティ・マネジメントの実施	広陵町・交通事業者・地域住民	ソフト		利用増進 啓発・PR	継続実施	→	→	→	→	→	→
		●	●	●	●	7	商業施設との連携(乗り入れ、ポイントカード制度拡充等)	広陵町・交通事業者・民間事業者	ソフト		利用増進	継続実施	→	→	→	→	→	→
		●	●	●	●	8	利用環境の整備	広陵町・交通事業者・民間事業者	ハード ソフト		利用増進	継続実施	→	→	→	→	→	→
		●			●	9	ICT等を活用した移動手段の利便性向上及び普及活動	広陵町・交通事業者・民間事業者	ソフト	○	利用増進 地域活性化	検討	実施	→	→	→	→	→
		●	●	●	●	10	運転免許自主返納の促進	広陵町・交通事業者・民間事業者	ソフト		利用増進	継続実施	→	→	→	→	→	→

3. 利便増進実施事業の概要

3.1 対象事業

交通計画で定めた事業項目のうち、以下に示す4つの事業項目に関して実施します。具体的には、「一般乗合旅客自動車運送事業（北部・南部支線）を自家用有償旅客運送（市町村有償旅客運送）（以下「自家用有償運送」という。）に転換」、「中央幹線の運行ルート・ダイヤの見直し」そしてそれらに合わせて行う「乗継検索、キャッシュレス決済の導入を含む広陵町版地域公共交通MaaS（以下「広陵町版MaaS」という。）の構築」といった3つの事業を行います。

本事業の実施により、本町の地域公共交通ネットワーク及びサービスの確保・維持をめざし、利用者のニーズにマッチした持続可能な仕組みの導入とそれに付随した様々な施策展開により利便増進を推進します。対象となるそれぞれの路線については、運行の維持・確保に向けた各種取組を行っていきます。

交通計画の事業項目	概要	実施事業
1. 地域公共交通ネットワークの構築	利用者のニーズに柔軟に対応するため、広陵元気号の定期的な見直しをはじめ、各種公共交通機関等との連携を行うことにより、本町に合った地域公共交通ネットワークを構築し、移動しやすい環境づくりを行います。	① 一般乗合旅客自動車運送事業（北部・南部支線）を自家用有償運送に転換 ② 中央幹線の運行ルート・ダイヤの見直し ③ ①②と合わせて行う乗継検索、キャッシュレス決済の導入を含む広陵町版 MaaS の構築
4. 新たな移動手段の導入	自家用有償運送の導入に伴い、公共交通の運行情報と観光情報を一元化するなど、来訪者にも分かりやすい情報提供により、観光来訪者数の増加及び公共交通の利用増進を図ります。	
5. 情報発信及び住民意見の把握	情報発信などによる利用促進だけでなく、公共交通を利用する人の意向を把握し、ニーズの変化に適切に対応するため、アンケート調査やワークショップ等を実施して住民意見を把握するとともに、公共交通の利用増進のため、公共交通の利用について啓発し、持続可能な公共交通をめざします。	
9. ICT等を活用した移動手段の利便性向上及び普及活動	町民の多くの方がスマートフォンを活用して情報収集している状況であり、既に、路線バス及び広陵元気号では、奈良交通が運営する「奈良バスナビweb」が導入され、リアルタイムの走行位置が分かるようになっていますが、引き続き、ICTをどのように活用できるか調査し、更なる情報の充実及び整理をおこない、電子決済サービスの充実やサブスクリプション（定額）形式のサー	

	<p>ビスの活用など新たな料金体系の導入について検討し、移動に対する付加価値の向上により、公共交通の利用増進を図ります。</p> <p>また、マイナンバーカードとの連携、クーポンやポイントカードの電子化などにより利用者の利便性を向上させ、利用履歴等のデータを蓄積・活用することで利用実態等を的確に把握し、公共交通の利用増進を図ります。</p>	
--	---	--

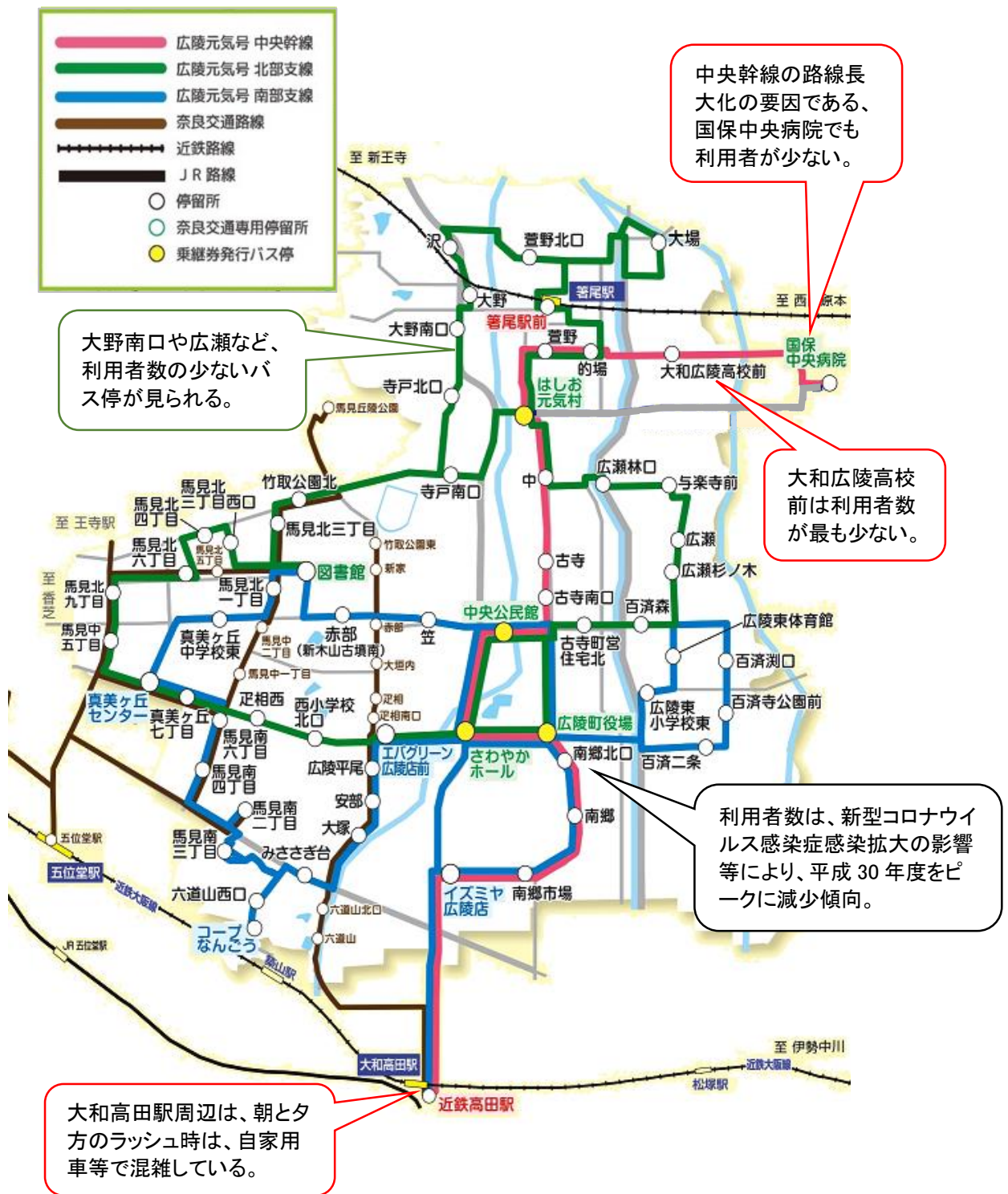
利便増進事業の事業内容は、法第2条第13号で規定されており、国土交通省が公表している「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き詳細編第2版（令和3年3月）」においては以下のとおり整理されています。

<p>イ. 特定旅客運送事業に係る路線等の編成の変更</p> <p>ロ. 他の種類への旅客運送事業への転換又は自家用有償旅客運送から旅客運送事業への転換</p> <p>ハ. 自家用有償旅客運送の導入又は路線若しくは区域の変更</p> <p>二. 運賃又は料金の設定</p> <p>ホ. 運行回数又は運行時刻の設定</p> <p>ヘ. 共通乗車船券の発行</p> <p>ト. イ～ヘに掲げる事業を併せて行う以下の事業</p> <p>① 乗継ぎを円滑にするための運行計画の改善</p> <p>② 交通結節施設における乗降場の改善</p> <p>③ 乗継ぎに関する分かりやすい情報提供</p> <p>④ ICカード又は二次元コードの導入</p> <p>⑤ ①から④に掲げる事業の他、地域公共交通の利用を円滑化するための措置</p>
--

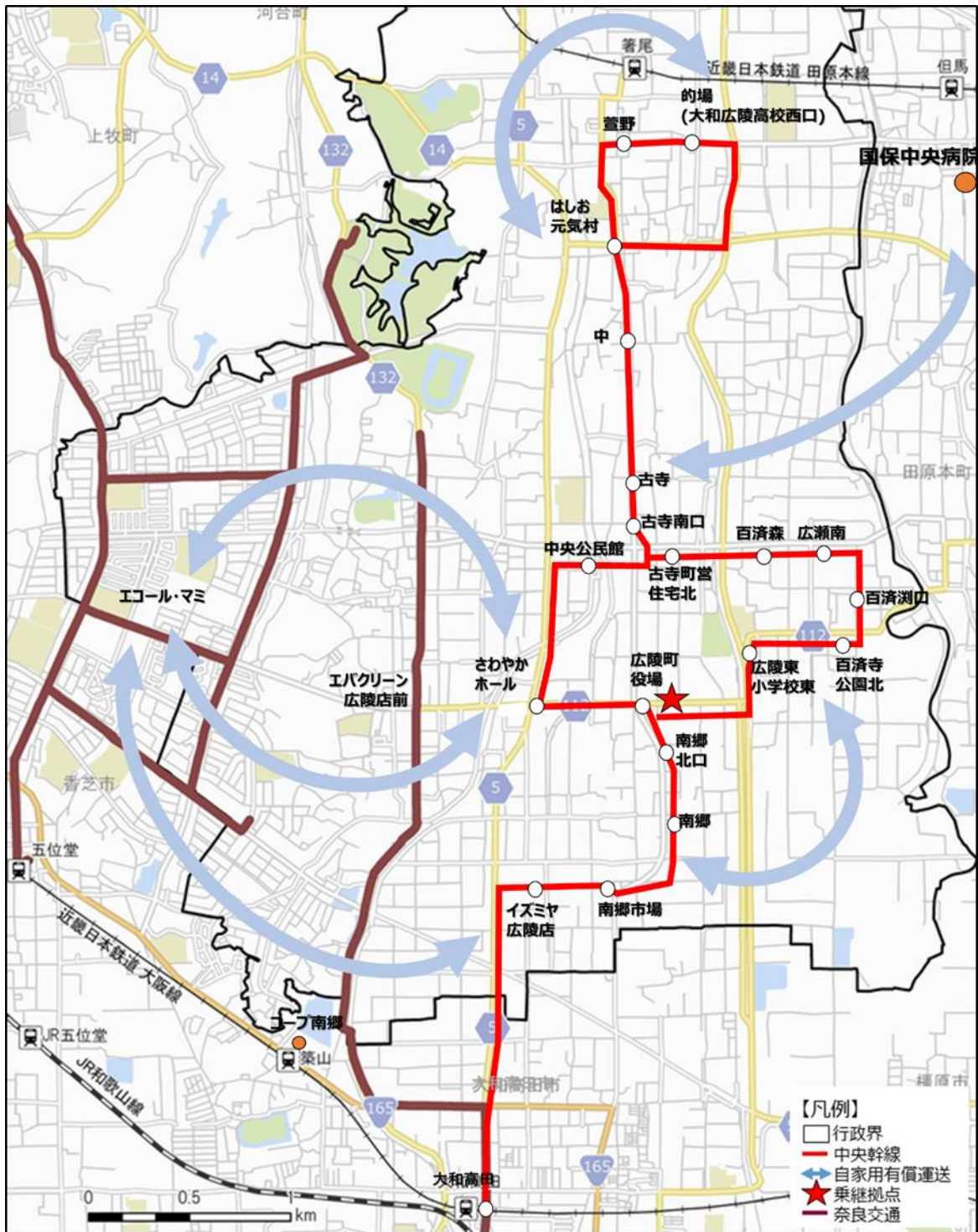
出典：地域公共交通計画等の作成と運用の手引き

3.2 本町地域公共交通ネットワークの再編概要

利便増進事業として実施する本町地域公共交通ネットワークの再編概要は以下のとおりです。

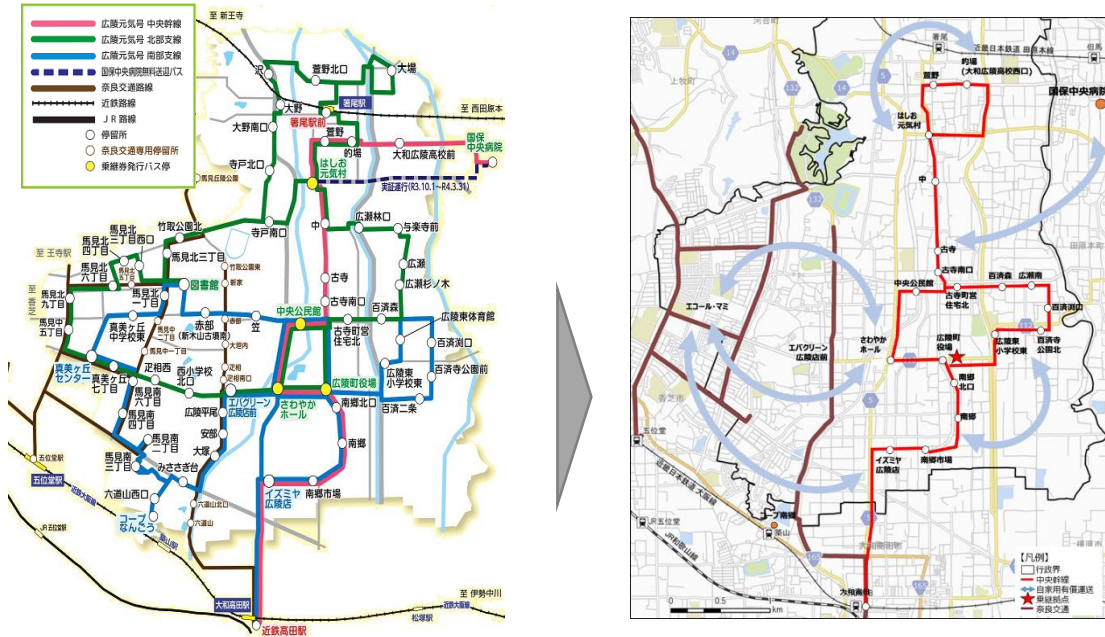


図：現行の地域公共交通ネットワークと課題



図：新たな地域公共交通ネットワーク

〔参考〕再編前後のルート図（再掲）



	現 行	再 編 後
事業の種類	【中央幹線・北部・南部支線】 一般乗合旅客自動車運送事業	【中央幹線】一般乗合旅客自動車運送事業 【北部・南部支線】自家用有償旅客運送事業（区域運行）
運行形態及び路線	【中央幹線・北部・南部支線】 定時定路線	【中央幹線】定時定路線 【自家用有償運送】区域運行
運行主体	広陵町	広陵町
運行委託事業者	【中央幹線・北部・南部支線】 奈良交通株式会社	【中央幹線】奈良交通株式会社 【自家用有償運送】株式会社愛和
運行車両	【中央幹線】小型バス 【北部・南部支線】ワゴン車2台	【中央幹線】小型バス 【自家用有償運送】ワゴン車2台
主な経由地	【中央幹線】近鉄高田駅、広陵町役場 【北部支線】真美ヶ丘センター 【南部支線】イズミヤ広陵店	【中央幹線】近鉄高田駅、広陵町役場 【自家用有償運送】町内全域、大和高田市及び田原本町の一部地域
運行便数	【中央幹線】10便（休日6便） 【北部支線】5便（休日4便） 【南部支線】7便（休日5便）	【中央幹線】11便（休日9便） 【自家用有償運送】非定時非定路線運行
停留所数	【中央幹線】16箇所 【北部支線】34箇所 【南部支線】31箇所	【中央幹線】20箇所 【自家用有償運送】151箇所
運行日	【中央幹線・北部・南部支線】 毎日 （年末年始：12/31～1/3を除く）	【中央幹線】 毎日（年末年始：12/31～1/3を除く） 【自家用有償運送】

		毎日（年末年始：12/31～1/3 を除く）
ダイヤ設定	パターンダイヤの採用（南部支線除く）	<p>【中央幹線】分かりやすいダイヤの採用（起点バス停発車時間）</p> <p>【自家用有償運送】予約に応じた運行、中央幹線へのスムーズな接続</p>
運賃	基本運賃は 100 円（大和高田駅発着の場合は 200 円）	<p>【中央幹線】基本運賃は 100 円（大和高田駅発着の場合は 200 円）</p> <p>【自家用有償運送】基本運賃は 300 円（小児（小学生以下）及び障がい者は半額、70 歳以上は 200 円） アプリ予約割で基本運賃及び 70 歳以上運賃から 1 割引</p>

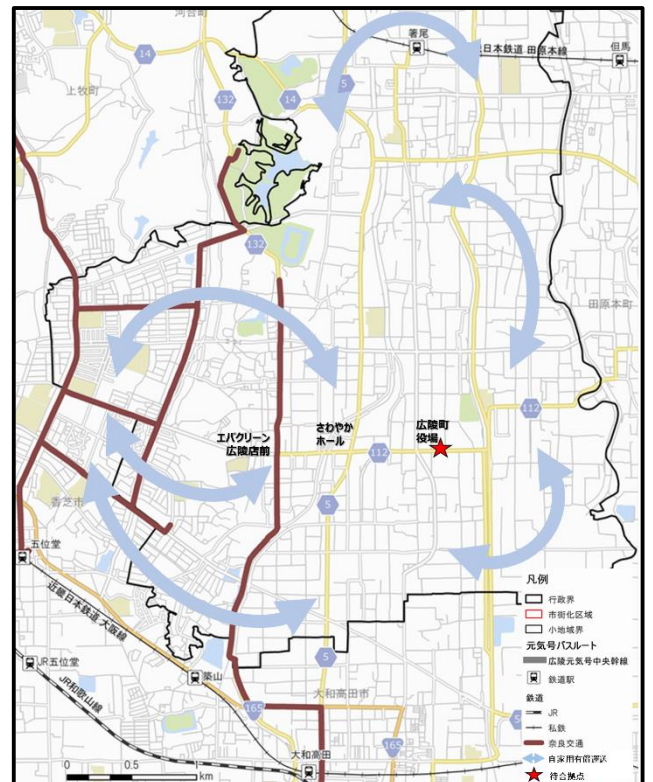
3.3 個別事業の内容

3.3.1 一般乗合旅客自動車運送事業（北部・南部支線）の自家用有償運送への転換

支線利用者の利便増進に向けて、住民ワークショップ及び事業者ヒアリング等の結果に基づき以下のように再編を実施します。



〔現行〕



〔再編後〕

	現 行	再 編 後
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業	自家用有償旅客運送
運行形態及び路線	【北部・南部支線】 定時定路線（2路線）	【自家用有償運送】 区域運行
運行主体	広陵町	広陵町
運行車両	【北部・南部支線】ワゴン車 各1台	【自家用有償運送】ワゴン車 2台
運行委託事業者	奈良交通株式会社	株式会社愛和
主な経由地	【北部支線】真美ヶ丘センター 【南部支線】イズミヤ広陵店	【自家用有償運送】町内全域、大和高田市及び田原本町の一部地域
運行便数	【北部支線】5便（休日4便） 【南部支線】7便（休日5便）	【自家用有償運送】非定時非定路線運行
停留所数	【北部支線】34箇所 【南部支線】31箇所	【自家用有償運送】 151箇所
運行日	【北部・南部支線】 毎日（年末年始：12/31～1/3を除く）	【自家用有償運送】 毎日（年末年始：12/31～1/3を除く）
ダイヤ設定	【北部支線】パターンダイヤの採用	【自家用有償運送】 予約に応じた運行 中央幹線へのスムーズな接続
運賃	【北部・南部支線】 基本運賃は100円（大和高田駅発着の場合は200円）	【自家用有償運送】 基本運賃は300円（小児（小学生以下）及び障がい者は半額、70歳以上は200円） アプリ予約割で基本運賃及び70歳以上運賃から1割引

(1) 現在の広陵元気号支線

北部支線は町内の公共施設、商業施設及び近鉄箸尾駅、南部支線は町内の公共施設、商業施設及び近鉄大和高田駅に接続しています。北部支線はエバグリーン広陵店前で補助対象地域間幹線系統「高田イオンモール線」「高田新家線」と接続（近接）していること、南部支線は近鉄大和高田駅で補助対象地域間幹線系統「高田五條線」「高田イオンモール線」「高田新家線」と接続（近接）していることから、中央幹線と同様に、国の「地域内フィーダー系統確保維持費補助金」を受け運行しています。

(2) 現在の広陵元気号支線の利用実態

令和4年度の支線の各バス停の利用者数を見ると、北部支線で最も利用者が多いのは真美ヶ丘センターの2,634人で、続いてはしお元気村が844人となっています。南部支線でも、最も利用者が多いのは真美ヶ丘センターの3,685人で、続いて近鉄大和高田駅が2,745人となっています。

利用者の推移を見ると、サービス開始以降順調に増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響等により、平成30年度をピークに減少しています。令和4年度は前年の令和3年度と比べて115%でやや改善しています。

また、広陵元気号を利用していない町民に対して、アンケートを通じて利用していない理由を聞いたところ、「自家用車が使える」(64.9%)、「利用する必要がない」(60.6%)が特に多くなっていますが、続いて「目的地まで時間がかかる」(13.9%)、「バスの運行情報が分かりにくい」(9.0%)、「目的地にバス停がない」(8.8%)などとなっています。

そこで、自家用有償運送（デマンド型交通）の利用希望を聞いたところ、「利用したい」+「広陵元気号がこれに変わるなら利用したい」は合計すると19.1%となっており、「75歳以上」では30.6%の方が利用を希望していることが分かりました。

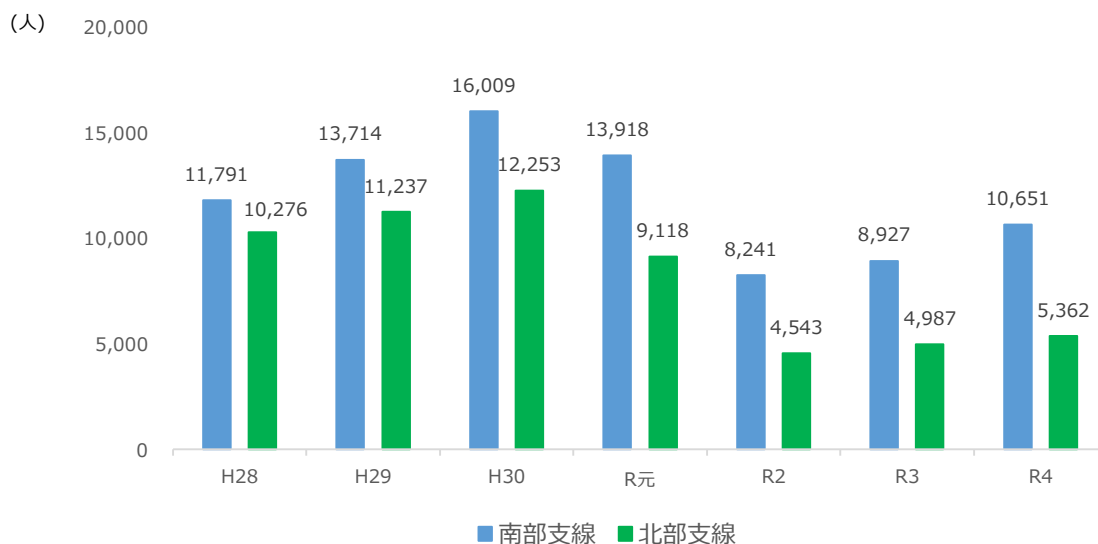


図 年度別支線利用者数（令和4年度）

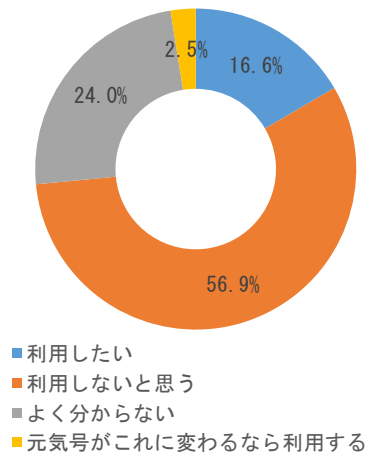


図 デマンド交通利用意向 (n=875)

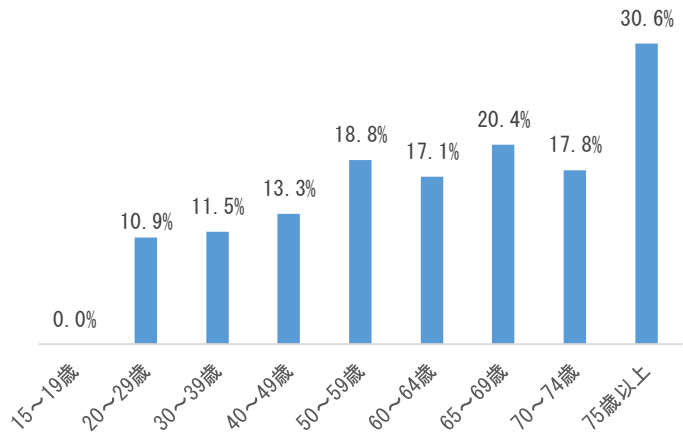


図 デマンド交通の利用希望者

表 広陵元気号北部・南部支線 バス停別年間利用者数 (令和4年度)

(北部支線)

北部支線	乗車	降車	乗降合計
真美ヶ丘センター	1257	1377	2,634
はしお元気村	422	422	844
エバグリーン広陵店前	475	262	737
広陵町役場	303	404	707
さわやかホール	261	426	687
寺戸南口	325	305	630
箸尾駅前	371	167	538
図書館	202	267	469
疋相西	150	298	448
馬見北三丁目	221	132	353
真美ヶ丘七丁目	242	92	334
中央公民館	126	177	303
馬見北六丁目	151	127	278
馬見北四丁目	156	105	261
馬見北三丁目西口	111	94	205
的場	77	124	201
馬見中五丁目	38	129	167
馬見北九丁目	72	59	131
萱野	32	84	116
沢	60	45	105
西小学校北口	27	52	79
百済森	42	36	78
古寺町宮住宅北	44	27	71
竹取公園北	29	42	71
与楽寺前	27	19	46
広瀬杉ノ木	39	3	42
萱野北口	13	29	42
大野南口	26	9	35
寺戸北口	13	19	32
大場	26	6	32
大野	15	9	24
中	7	13	20
広瀬	2	2	4
広瀬林口	0	0	0
合計	5,362	5,362	10,724

(南部支線)

南部支線	乗車	降車	乗降合計
真美ヶ丘センター	1,985	1,700	3,685
近鉄高田駅	1,507	1,238	2,745
イズミヤ広陵店	1,162	1,338	2,500
広陵町役場	750	783	1,533
百済淵口	381	408	789
さわやかホール	375	296	671
赤部	789	519	1,308
コープなんごう	371	447	818
馬見北一丁目	195	210	405
エバグリーン広陵店前	292	265	557
図書館	259	239	498
百済二条	154	182	336
南郷	106	136	242
馬見南四丁目	190	256	446
馬見南三丁目	194	354	548
真美ヶ丘中学校東	101	380	481
六道山西口	49	189	238
中央公民館	35	103	138
馬見南二丁目	134	294	428
六道山西口	179	54	233
馬見南六丁目	124	150	274
広陵東体育館	174	143	317
みささぎ台	66	54	120
百済寺公園前	136	99	235
南郷市場	135	91	226
広陵平尾	109	143	252
笠	282	278	560
南郷北口	123	49	172
真美ヶ丘七丁目	100	95	195
広陵東小学校東	110	117	227
大塚	80	25	105
安部	8	21	29
合計	10,655	10,656	21,311

(3) 事業の内容

支線の利便増進に向けて、以下の事業を実施します。

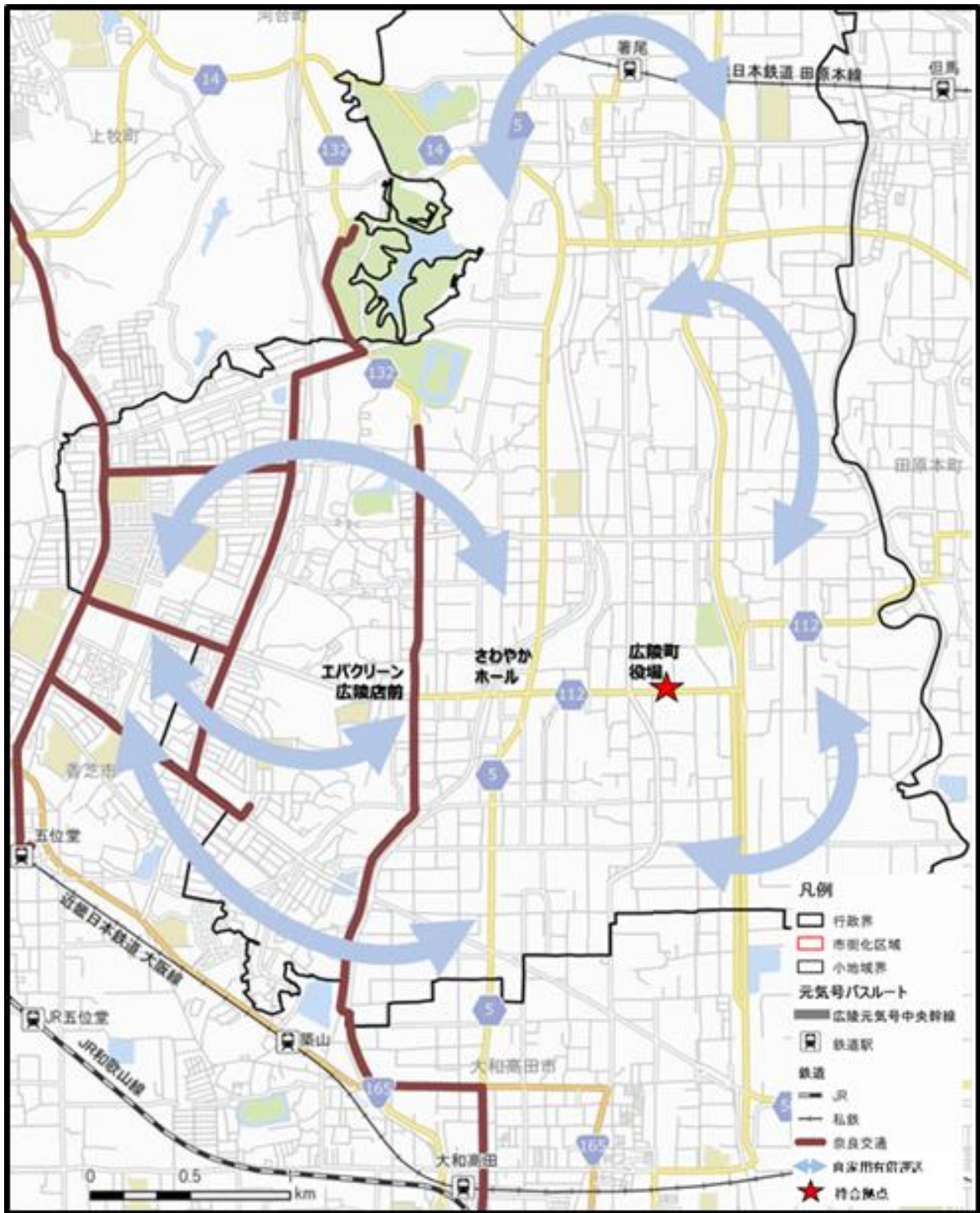
1. 町内移動の充実を図るため予約に応じて運行する自家用有償運送へ移行する。
2. 幹線系統（広陵元気号及び奈良交通）との連携を図る。
3. 乗降地点については、原則、各区・自治会に最低1箇所の設置とし、高齢化率の高い地域並びに運転免許自主返納者が多い地域については複数地点を設置する（その他町民からの要望の多いコープなんごう（大和高田市）及び国保中央病院（田原本町）にも設置する）。
4. 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）を受けて確保・維持を行う。

	現 行
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業
運行形態及び路線	定時定路線運行 （広陵元気号北部支線）
運行主体	広陵町
運行車両	ワゴン車（乗車定員12人）1台
運行委託事業者	奈良交通株式会社
主な経由地	真美ヶ丘センター、はしお元気村
運行便数	5便（左回り3便、右回り2便）
運行時間帯	8:20～17:06（平日）
停留所数	34箇所
運行日	年末年始（12/31～1/3）を除く毎日
運賃	基本運賃は100円 （近鉄高田駅発着の場合は200円）
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業
運行形態及び路線	定時定路線運行 （広陵元気号南部支線）
運行主体	広陵町
運行車両	ワゴン車（乗車定員12人）1台
運行委託事業者	奈良交通株式会社
主な経由地	真美ヶ丘センター、イズミヤ広陵店
運行便数	7便（左回り4便、右回り3便）
運行時間帯	8:25～19:21（平日）
停留所数	31箇所
運行日	年末年始（12/31～1/3）を除く毎日
運賃	基本運賃は100円 （近鉄高田駅発着の場合は200円）



	再 編 後
事業の種類	自家用有償旅客運送
運行形態及び路線	区域運行
運行主体	広陵町
運行車両	ワゴン車（乗車定員12人）2台
運行委託事業者	株式会社愛和
主な経由地	町内全域、大和高田市及び田原本町の一部
運行便数	予約に応じた運行
運行時間帯	9:00～17:00
停留所数	150箇所
運行日	年末年始（12/31～1/3） を除く毎日
運賃	基本運賃は 300円 （ 小児（小学生以下）及び障がい者は半額、70歳以上は200円 ） アプリ予約割で基本運賃及び70歳以上運賃から1割引





図：自家用有償運送運行イメージ図（再掲）

(4) 特定事業概要

一般乗合旅客自動車運送事業（定時定路線）の広陵元気号北部支線及び南部支線を利用者の予約に応じて運行する、自家用有償運送に移行します。

(5) 実施予定期間

実施予定期間：令和5年10月～令和9年3月

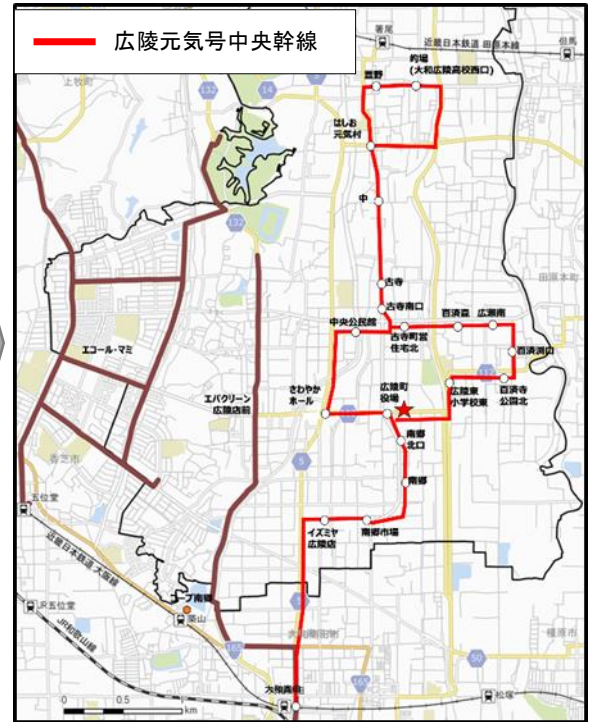
実施事業	実施主体	短期				中期	長期
		R5	R6	R7	R8	R9-R13	R14-
自家用有償旅客運送の導入	広陵町 交通事業者(町が委託) システム事業者(町が委託) 広陵町社会福祉協議会(オペレーター委託)	導入		見直し		適宜見直し	

3.3.2 広陵元気号中央幹線の再編

中央幹線利用者の利便増進に向けて、住民ワークショップ及び事業者ヒアリング等の結果に基づき以下のように再編を実施します。



〔現行〕



〔再編後〕

項目	現 行	再 編 後
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業	一般乗合旅客自動車運送事業
運行形態及び路線	定時定路線【中央幹線】	定時定路線【中央幹線】
運行主体	広陵町	広陵町
運行車両	小型バス	小型バス
運行委託事業者	奈良交通株式会社	奈良交通株式会社
主な経由地	近鉄高田駅、広陵町役場	近鉄高田駅、広陵町役場
運行便数	【中央幹線】10便（休日6便）	【中央幹線】11便（休日9便）
停留所数	16箇所	20箇所
運行日	毎日（年末年始：12/31～1/3を除く）	毎日（年末年始：12/31～1/3を除く）
ダイヤ設定	パターンダイヤの採用 （各停留所発着時間）	分かりやすいダイヤの採用 （起点バス停発車時間）
運賃	基本運賃は100円（大和高田駅発着の場合は200円）	基本運賃は100円（大和高田駅発着の場合は200円）

(1) 現在の広陵元気号中央幹線

中央幹線は、近鉄大和高田駅から町の主要公共施設を回り、国保中央病院までの区間を運行しています。また、近鉄大和高田駅で補助対象地域間幹線系統「高田五條線」「高

田イオンモール線」「高田新家線」と接続（近接）することにより、国の「地域内ファイダーシステム確保維持費補助金」を受けて運行しています。

(2) 現在の広陵元気号中央幹線の利用実態

令和4年度の中央幹線の各バス停の乗降利用者数を見ると、最も利用者が多いのは近鉄大和高田駅の14,488人で、続いてイズミヤ広陵店が5,721人、広陵町役場が5,211人となっています。近鉄大和高田駅は、他の利用者数の多いバス停と比較しても突出して利用されている結果となっています。一方、大和広陵高校前は、利用者数が最も少ない状況です。また、中央幹線の路線長大化の要因である、国保中央病院でも利用者が少ない状況です。

利用者の推移を見ると、平成28年10月の本格運行後、順調に増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響等により、令和元年度をピークに減少しています。令和4年度は前年の令和3年度と比べて110%となり、やや改善しています。

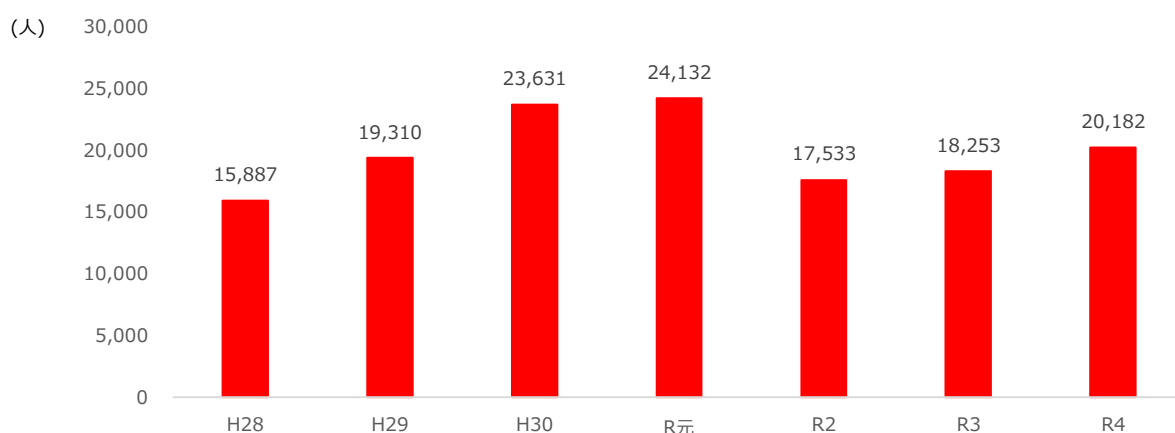


図 年度別中央幹線利用者数（令和4年度）

表 広陵元気号中央幹線バス停別年間利用者数（令和4年度）

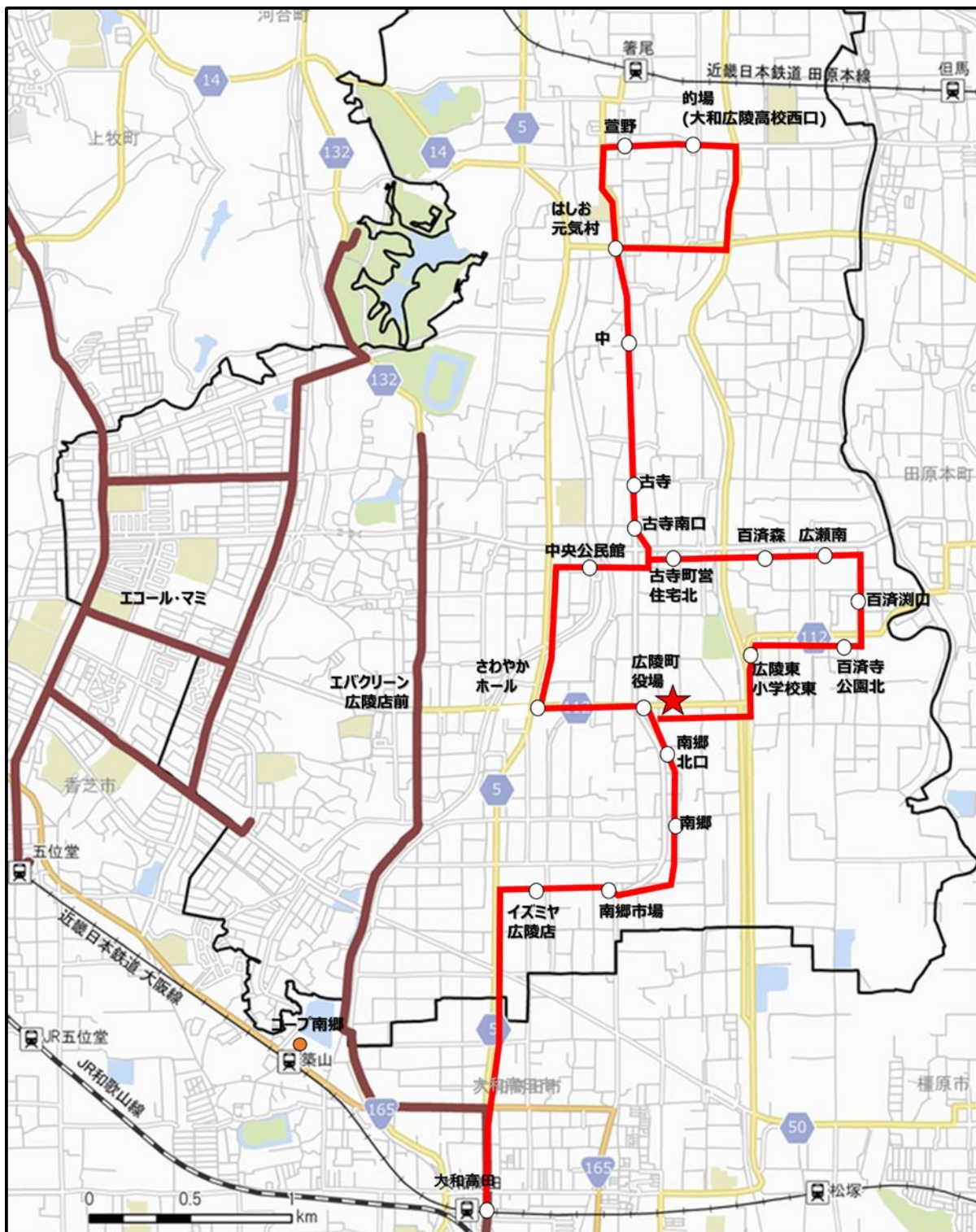
中央幹線	乗車	降車	乗降合計
近鉄高田駅	7,076	7,412	14,488
イズミヤ広陵店	3,003	2,718	5,721
広陵町役場	2,430	2,781	5,211
はしお元気村	1,209	1,262	2,471
南郷	983	1,358	2,341
南郷北口	894	740	1,634
中央公民館	879	686	1,565
さわやかホール	811	601	1,412
国保中央病院	434	559	993
的場	575	398	973
南郷市場	466	490	956
萱野	501	401	902
中	382	318	700
古寺	223	207	430
古寺南口	170	121	291
大和広陵高校前	146	130	276
合計	20,182	20,182	40,364

(3) 事業の内容

中央幹線の利便増進に向けて、以下の事業を実施します。

1. 利用が少なくなっていた大和広陵高校前以降のバス停には乗り入れせず、葛城川を越えた県道 108 号を南下し、鳥居大橋を右折して「はしお元気村」へ向かうルートにする（なお、大和広陵高校前バス停は、的場バス停に吸収することとし、国保中央病院は、町民から通院等の際の利用しやすい時間にバスが無いとの意見が多いことから、前述の「自家用有償運送」により対応することにする）。
2. 支線の自家用有償運送への移行（前述）に伴い、これまで支線のルートになっていた百済地区については、住民からの要望が多い朝の時間帯は中央幹線の運行エリアを拡大して巡回する。
3. 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）を受けて路線の確保・維持を行う。

項 目	現 行	再 編 後
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業	一般乗合旅客自動車運送事業
運行形態及び路線	定時定路線	定時定路線
運行主体	広陵町	広陵町
運行車両	小型バス（定員 32 人）1 台	小型バス（定員 32 人）1 台
運行委託事業者	奈良交通株式会社	奈良交通株式会社
主な経由地	近鉄高田駅、広陵町役場	近鉄高田駅、広陵町役場
運行便数	10 便（休日 6 便）	11 便（休日 9 便）
停留所数	16 箇所	20 箇所
運行日	毎日（年末年始：12/31～1/3 を除く）	毎日（年末年始：12/31～1/3 を除く）
ダイヤ設定	パターンダイヤの採用 （各停留所発着時間）	分かりやすいダイヤの採用 （起点バス停発車時間）
運賃	基本運賃は 100 円（大和高田駅発着の場合は 200 円）	基本運賃は 100 円（大和高田駅発着の場合は 200 円）



図：広陵元気号中央幹線ルート図（再編後：再掲）

運行ダイヤは、事業者ヒアリングや関係各所等との調整を踏まえて、P24 及び P25 の表「改定広陵元気号中央幹線の時刻表」のように整理しました。

表 現在の広陵元気号中央幹線の時刻表

バス停留所	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便
	土日祝ダイヤ運休	土日祝ダイヤ運休							土日祝ダイヤ運休	土日祝ダイヤ運休
近鉄高田駅		7:21	8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	17:00	18:00	19:00
イズミヤ広陵店		↓(通過)	8:07	10:07	12:07	14:07	16:07	17:07	18:07	19:07
南郷市場		7:28	8:09	10:09	12:09	14:09	16:09	17:09	18:09	19:09
南郷		7:29	8:10	10:10	12:10	14:10	16:10	17:10	18:10	19:10
南郷北口		7:30	8:11	10:11	12:11	14:11	16:11	17:11	18:11	19:11
○広陵町役場		7:32	8:13	10:13	12:13	14:13	16:13	17:13	18:13	19:13
○さわやかホール			8:16	10:16	12:16	14:16	16:16	17:16	18:16	19:16
○中央公民館(北側)			8:19	10:19	12:19	14:19	16:19	17:19	18:19	19:19
古寺南口			8:21	10:21	12:21	14:21	16:21			
古寺			8:22	10:22	12:22	14:22	16:22			
中			8:24	10:24	12:24	14:24	16:24			
○はしお元気村			8:27	10:27	12:27	14:27	16:27			
萱野			8:30	10:30	12:30	14:30				
的場			8:31	10:31	12:31	14:31				
大和広陵高校前			8:33	10:33	12:33	14:33				
国保中央病院 着			8:41	10:41	12:41	14:41				
国保中央病院 発			8:46	10:46	12:46	14:46				
大和広陵高校前			8:54	10:54	12:54	14:54				
的場			8:56	10:56	12:56	14:56				
萱野			8:57	10:57	12:57	14:57	↓			
○はしお元気村			9:00	11:00	13:00	15:00	16:30			
中			9:03	11:03	13:03	15:03	16:33			
古寺			9:05	11:05	13:05	15:05	16:35			
古寺南口			9:06	11:06	13:06	15:06	16:36	↓	↓	
○中央公民館(南側)			9:08	11:08	13:08	15:08	16:38	17:25	18:25	
○さわやかホール		↓	9:11	11:11	13:11	15:11	16:41	17:28	18:28	
○広陵町役場	7:00	7:35	9:14	11:14	13:14	15:14	16:44	17:31	18:31	
南郷北口	7:02	7:37	9:16	11:16	13:16	15:16	16:46	17:33	18:33	
南郷	7:03	7:38	9:17	11:17	13:17	15:17	16:47	17:34	18:34	
南郷市場	7:04	7:39	9:18	11:18	13:18	15:18	16:48	17:35	18:35	
イズミヤ広陵店	↓(通過)	↓(通過)	9:20	11:20	13:20	15:20	16:50	17:37	18:37	
近鉄高田駅	7:11	7:50	9:27	11:27	13:27	15:27	16:57	17:44	18:44	

表 改定広陵元気号中央幹線の時刻表（第1～6便）[2023.5時点]

第1便		第2便		第3便		第4便		第5便		第6便	
※土日祝運休											
広陵町役場	6:30	近鉄高田駅	7:10	近鉄高田駅	8:00	近鉄高田駅	9:20	近鉄高田駅	10:35	近鉄高田駅	12:30
古寺町営住宅北	6:34	南郷市場	7:17	イズミヤ広陵店	8:07	イズミヤ広陵店	9:27	イズミヤ広陵店	10:42	イズミヤ広陵店	12:37
百済森	6:35	南郷	7:18	南郷市場	8:09	南郷市場	9:29	南郷市場	10:44	南郷市場	12:39
広瀬南(新)	6:36	南郷北口	7:19	南郷	8:10	南郷	9:30	南郷	10:45	南郷	12:40
百済測口	6:38	広陵町役場	7:21	南郷北口	8:11	南郷北口	9:31	南郷北口	10:46	南郷北口	12:41
百済寺公園北(新)	6:39	古寺町営住宅北	7:25	広陵町役場	8:13	広陵町役場	9:33	広陵町役場	10:48	広陵町役場	12:43
広陵東小学校東	6:41	百済森	7:26	さわやかホール	8:16	さわやかホール	9:36	さわやかホール	10:51	さわやかホール	12:46
広陵町役場	6:45	広瀬南(新)	7:27	中央公民館	8:19	中央公民館	9:39	中央公民館	10:54	中央公民館	12:49
南郷北口	6:47	百済測口	7:29	古寺南口	8:21	古寺南口	9:41	古寺南口	10:56	古寺南口	12:51
南郷	6:48	百済寺公園北(新)	7:30	古寺	8:22	古寺	9:42	古寺	10:57	古寺	12:52
南郷市場	6:49	広陵東小学校東	7:32	中	8:24	中	9:44	中	10:59	中	12:54
近鉄高田駅	6:56	広陵町役場	7:36	はしお元気村	8:27	はしお元気村	9:47	はしお元気村	11:02	はしお元気村	12:57
		南郷	7:38	萱野	8:30	萱野	9:50	萱野	11:05	萱野	13:00
		南郷北口	7:39	的場(大和広陵高校西口)	8:31	的場(大和広陵高校西口)	9:51	的場(大和広陵高校西口)	11:06	的場(大和広陵高校西口)	13:01
		南郷市場	7:40	はしお元気村	8:37	はしお元気村	9:57	はしお元気村	11:12	はしお元気村	13:07
		近鉄高田駅	7:47	中	8:40	中	10:00	中	11:15	中	13:10
				古寺	8:42	古寺	10:02	古寺	11:17	古寺	13:12
				古寺南口	8:43	古寺南口	10:03	古寺南口	11:18	古寺南口	13:13
				中央公民館	8:46	中央公民館	10:06	中央公民館	11:21	中央公民館	13:16
				さわやかホール	8:49	さわやかホール	10:09	さわやかホール	11:24	さわやかホール	13:19
				広陵町役場	8:52	広陵町役場	10:12	広陵町役場	11:27	広陵町役場	13:22
				南郷北口	8:54	南郷北口	10:14	南郷北口	11:29	南郷北口	13:24
				南郷	8:55	南郷	10:15	南郷	11:30	南郷	13:25
				南郷市場	8:56	南郷市場	10:16	南郷市場	11:31	南郷市場	13:26
				イズミヤ広陵店	8:58	イズミヤ広陵店	10:18	イズミヤ広陵店	11:33	イズミヤ広陵店	13:28
				近鉄高田駅	9:05	近鉄高田駅	10:25	近鉄高田駅	11:40	近鉄高田駅	13:35

表続き 改定広陵元気号中央幹線の時刻表（第7～11便）[2023.5時点]

第7便		第8便		第9便		第10便		第11便 ※土日祝運休	
近鉄高田駅	13:50	近鉄高田駅	15:10	近鉄高田駅	16:30	近鉄高田駅	18:00	近鉄高田駅	19:10
イズミヤ広陵店	13:57	イズミヤ広陵店	15:17	イズミヤ広陵店	16:37	イズミヤ広陵店	18:07	イズミヤ広陵店	19:17
南郷市場	13:59	南郷市場	15:19	南郷市場	16:39	南郷市場	18:09	南郷市場	19:19
南郷	14:00	南郷	15:20	南郷	16:40	南郷	18:10	南郷	19:20
南郷北口	14:01	南郷北口	15:21	南郷北口	16:41	南郷北口	18:11	南郷北口	19:21
広陵町役場	14:03	広陵町役場	15:23	広陵町役場	16:43	広陵町役場	18:13	広陵町役場	19:23
さわやかホール	14:06	さわやかホール	15:26	さわやかホール	16:46	広陵東小学校東	18:17	広陵東小学校東	19:27
中央公民館	14:09	中央公民館	15:29	中央公民館	16:49	百済寺公園北(新)	18:19	百済寺公園北(新)	19:29
古寺南口	14:11	古寺南口	15:31	古寺南口	16:51	百済淵口	18:20	百済淵口	19:30
古寺	14:12	古寺	15:32	古寺	16:52	広瀬南(新)	18:22	広瀬南(新)	19:32
中	14:14	中	15:34	中	16:54	百済森	18:23	百済森	19:33
はしお元気村	14:17	はしお元気村	15:37	はしお元気村	16:57	古寺町営住宅北	18:24	古寺町営住宅北	19:34
萱野	14:20	萱野	15:40	萱野	17:00	古寺南口	18:26	広陵町役場	19:38
的場(大和広陵高校西口)	14:21	的場(大和広陵高校西口)	15:41	的場(大和広陵高校西口)	17:01	古寺	18:27		
はしお元気村	14:27	はしお元気村	15:47	はしお元気村	17:07	中	18:29		
中	14:30	中	15:50	中	17:10	はしお元気村	18:32		
古寺	14:32	古寺	15:52	古寺	17:12	中	18:35		
古寺南口	14:33	古寺南口	15:53	古寺南口	17:13	古寺	18:37		
中央公民館	14:36	中央公民館	15:56	中央公民館	17:16	古寺南口	18:38		
さわやかホール	14:39	さわやかホール	15:59	さわやかホール	17:19	広陵町役場	18:42		
広陵町役場	14:42	広陵町役場	16:02	広陵町役場	17:22	南郷北口	18:44		
南郷北口	14:44	南郷北口	16:04	南郷北口	17:24	南郷	18:45		
南郷	14:45	南郷	16:05	南郷	17:25	南郷市場	18:46		
南郷市場	14:46	南郷市場	16:06	南郷市場	17:26	イズミヤ広陵店	18:48		
イズミヤ広陵店	14:48	イズミヤ広陵店	16:08	イズミヤ広陵店	17:28	近鉄高田駅	18:55		
近鉄高田駅	14:55	近鉄高田駅	16:15	近鉄高田駅	17:35				

(4) 特定事業概要

一般乗合旅客自動車運送事業（定時定路線）の広陵元気号中央幹線のルート及びダイヤを再編し、始発となる「近鉄大和高田駅」の発車時間を分かりやすいダイヤとします。

(5) 実施予定期間

実施予定期間：令和5年10月～令和9年3月

実施事業	実施主体	短期				中期	長期
		R5	R6	R7	R8	R9-R13	R14-
広陵元気号中央幹線の再編	広陵町 交通事業者(町が委託)						
		実施		見直し		適宜見直し	

3.3.3 運行再編に合わせた乗継検索、キャッシュレス決済の導入を含む広陵町版地域公共交通 MaaS の構築

(1) 趣旨

住民の移動ニーズに柔軟に対応するため、現在、定時定路線で運行しているコミュニティバス「広陵元気号」の一部（北部・南部支線）を、予約型の自家用有償運送に転換します。また、広陵元気号中央幹線及び奈良交通路線バス等の町内全ての公共交通をデジタル技術等の活用により、シームレスに繋ぐことで、利用者の利便性向上や外出機会の創出を向上させるため、広陵町版 MaaS を構築します。

広陵町版 MaaS は、AI による配車及び運行経路構築等が可能な予約システムを構築することで、住民アンケートやワークショップにおいて広陵元気号の利用者等からの要望が高かった「利用したい時に即時に利用できる運行方法」を実現します。

(2) 構築するシステムの概要

自家用有償運送の利便増進に向けて、以下の要件に基づく予約システムを構築します。

要件	概要
予約システムの構築	利用者登録、利用予約（キャンセル）、AI による配車及び運行経路構築等の機能を備えたシステムを構築する。円滑なシステム構築となるよう、利用者ツール、ドライバーツール及び管理者ツールがそれぞれ連動したものとする。なおシステムは、利用者及び管理者等の UI (User Interface) の観点から構築し、併せて町内公共交通機関の乗継検索や毎月の利用実績の分析など、町内公共交通の利用促進及び効果的な運用に寄与するようにする。また運用に当たり、不正アクセス防止の体制構築及びインターネットウイルスの脅威を防ぐため適切なセキュリティ対策を講じるとともに、システムにおけるソフトウェアアップデート及びシステ

	ム障害発生時にも正常な稼働が継続できるようにする。
予約受付体制の確立	構築されたシステムでの予約のほか、電話オペレーターによる予約受付体制を構築し、オペレーター業務を行う。
検索から決済までの一気通貫機能	予約システムの構築に関して、自家用有償運送と広陵元気号中央幹線を連携させた、検索、予約、事前決済、運行位置状況確認、乗継対応、車内でのキャッシュレス決済等が可能な一気通貫機能を備えたシステムにする。
デジタル技術を活用したシステム設計	予約システム構築に関しては、以下の機能と連動できるシステム設計にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・予約システムをプラットフォームとしたデジタルポイント（地域ポイント）制度 ・町内企業との連携による割引制度や特典付与制度 ・企画チケットや電子チケット等の導入

(3) 予約方法

住民ワークショップ及び事業者サウンディング等を踏まえて、予約方法について、以下のように整理しました。

予約方法	電話、窓口、Web・アプリ
予約受付曜日	【電話・窓口】平日 【Web・アプリ】年末年始を除く毎日
予約受付時間	【電話・窓口】8:30～16:30 【Web・アプリ】24時間対応
予約受付対応	リアルタイム予約 (乗車・降車希望時間設定可) 最終予約は運行終了時刻の30分前(16:30)まで
支払方法	現金、各種交通系ICカード、QR決済、クレジット等
事前登録の可否	必要(初回予約時に自動で個人情報の登録も可能)
登録方法	Web・アプリ、申請書提出
受付・オペレーター	広陵町社会福祉協議会
運行効率化の取組	路線バス・広陵元気号中央幹線とのスムーズな乗継
その他	アプリの使い方教室の開催、走行位置情報の掲載 乗継割、アプリ予約割の導入などさまざまな料金体系を構築


(4) 特定事業概要

一般乗合旅客自動車運送事業(定時定路線)の広陵元気号北部支線及び南部支線を利用者の予約に応じて運行する、自家用有償運送への移行に併せて、一気通貫の乗継検索機能及びキャッシュレス決済機能の導入など、広陵町版MaaSを構築します。

(5) 実施予定期間

実施予定期間：令和5年10月～令和9年3月末

実施事業	実施主体	短期				中期	長期
		R5	R6	R7	R8	R9-R13	R14-
広陵町版地域公共交通MaaS構築	広陵町 交通事業者(運行委託) システム事業者(導入・運用委託) 広陵町社会福祉協議会(オペレーター委託) 町内商業施設等(連携・協力)	導入	機能拡大 検討・実施			適宜見直し	



4. 地方公共団体における支援の内容

本町が行う支援内容は以下のとおりです。

交通計画の事業項目 【利便増進事業】	本計画での実施事業 【利便増進事業】	支援内容
1. 地域公共交通ネットワークの構築	①一般乗合旅客自動車運送事業（北部・南部支線）を自家用有償旅客運送に転換 ②中央幹線の運行ルート・ダイヤの見直し ③運行再編に合わせた乗継検索、キャッシュレス決済の導入を含む広陵町版 MaaS の構築	■①について ・運行委託業務を実施
4. 新たな移動手段の導入		■②について ・運行委託業務を実施
5. 情報発信及び住民意見の把握		■③について ・広陵町版地域公共交通 MaaS 構築等委託
9. ICT 等を活用した移動手段の利便性向上及び普及活動		■全体的なことも含む ・広陵町地域公共交通活性化協議会の事務局としての意見等の収集・調整・整理 ・利便増進に向けた情報提供（パンフレットの作成、町ホームページでの情報発信など）

5 必要な資金の額・調達方法

事業実施に必要な資金の額や調達方法は以下のとおりです。

本計画での実施事業 【利便増進事業】	必要な資金の額	調達方法
① 一般乗合旅客自動車運 送事業（北部・南部支 線）を自家用有償旅客 運送に転換	【令和5年度】 16,500千円 【令和6年度以降】 22,000千円	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃収入 ・国・県補助金 「地域内フィーダー系統確保 維持費国庫補助金」(国) 「公共交通基本計画推進支援 事業補助金」(県) ・広陵町支出
② 中央幹線の運行ルー ト・ダイヤの見直し	【令和5年度】 35,599千円 【令和6年度以降】 28,077千円	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃収入 ・国・県補助金 「地域内フィーダー系統確保 維持費国庫補助金」(国) 「公共交通基本計画推進支援 事業補助金」(県) ・広陵町支出
③ 運行再編に合わせた乗 継検索、キャッシュレ ス決済の導入を含む広 陵町版 MaaS の構築	【令和5年度】 6,443千円 <ul style="list-style-type: none"> ・AI 予約システム構築業務及び予 約受付体制の確立業務 ：4,458千円 ・保守管理及びシステム利用料 ：1,985千円 【令和6年度以降】 5,983千円 <ul style="list-style-type: none"> ・予約受付業務：4,000千円 ・保守管理及びシステム利用料 ：1,983千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県補助金 「令和4年度第2次補正予算 事業（交通 DX・GX による経 営改善支援）」(国) ・デジタル田園都市国家構想交 付金(国) ・「公共交通基本計画推進支援 事業補助金」(県) ・広陵町支出

6. 事業の効果

本事業実施によって得られる効果は以下のとおりです。

本計画での実施事業 【利便増進事業】	効 果	交通計画での目標値
① 一般乗合旅客自動車運 送事業（北部・南部支 線）を自家用有償旅客 運送に転換	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅からバス停、乗降場所までの 距離 【令和4年:約250m→ 令和5年:約130mm】 ・ 町内商業施設のアクセス回数/日 (最大) 【令和4年:11回→令和5年:20回】 ・ 乗降場所数 【令和4年:60箇所 →令和5年151箇所】 ・ 広陵元気号に係る財政支出の低減 化による持続可能性の向上 【令和4年:59,000千円 →令和5年54,000千円】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広陵元気号を月1回以上利 用する割合 【7.0%:増加】 ・ 広陵元気号の利用目的別利 用者数 【20%:増加】 ・ 広陵元気号の運賃収入 【4,600,000円:増加】 ・ 広陵元気号の収支率 【7.0%:増加】 ・ 広陵元気号の近鉄大和高田 駅接続便数 【26便:維持】 ・ 広陵元気号に関する認知 率:いずれも増加
② 中央幹線の運行ルー ト・ダイヤの見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行便数 【令和4年:10便→令和5年:11 便】 ・ 利用者増による広陵元気号中央幹 線運賃収入増加 【令和4年:2,742,700円(概算) →令和5年3,300,000円】 	<ul style="list-style-type: none"> 【広陵元気号の運行100.0%】 【バス停の位置90.0%】 【バス停名70.0%】 【バスのダイヤ40.0%】 【バスの運行ルート50.0%】 【バスで行ける施設40.0%】
③ 運行再編に合わせた乗 継検索、キャッシュレ ス決済の導入を含む広 陵町版MaaSの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運賃支払回数(乗継時) 【令和4年:2回→令和8年:1回】 ・ 支払い方法の多様化(事前決済の 導入等) 【令和4年:4種類→令和8年6種 類】 	